

調布市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査結果報告書

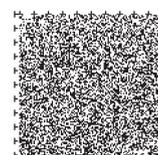
概 要 版

平成 3 1 年 3 月

調 布 市

目 次

| | |
|---------------|----|
| I 調査の概要 | 1 |
| II 就学前児童 | 2 |
| III 就学児童 | 10 |
| IV 子ども・若者意識調査 | 15 |





I 調査の概要



1 調査目的

本調査は、「次期調布市子ども・子育て支援事業計画」（平成32年度～平成36年度）策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものです。



2 調査対象及び調査方法

| 項目 | 就学前児童 | 就学児童 | 子ども・若者意識調査 |
|------|---------------|--------------|---------------|
| 調査対象 | 市内の就学前児童のいる世帯 | 小学生のいる世帯 | 13歳から39歳までの市民 |
| 配布数 | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| 抽出法 | 無作為抽出 | 無作為抽出 | 無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送法 | 郵送法 | 郵送法 |
| 調査時期 | 平成30年10月～11月 | 平成30年10月～11月 | 平成31年2月～3月 |
| 調査地域 | 調布市全域 | 調布市全域 | 調布市全域 |



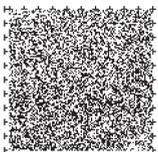
3 配布数及び回収結果

| 項目 | 就学前児童 | 就学児童 | 子ども・若者意識調査 |
|-------|-------|-------|------------|
| 有効配布数 | 1,995 | 1,998 | 1,981 |
| 有効回収数 | 1,187 | 1,206 | 552 |
| 有効回収率 | 59.5% | 60.4% | 27.9% |

※本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④ 配布数については居住地区ごとの人口比率を考慮している。





Ⅱ 就学前児童

1 子どもの保護者の就労状況

(1) 就労状況

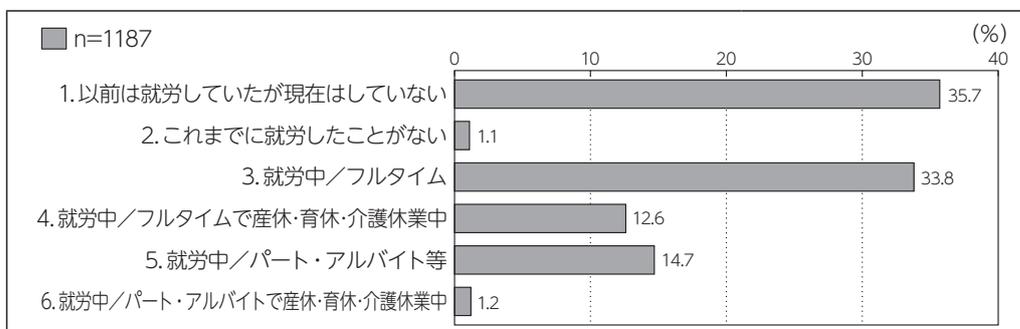
① 母親

(1) 就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、農業、家族従事者含む)をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親の就労状況

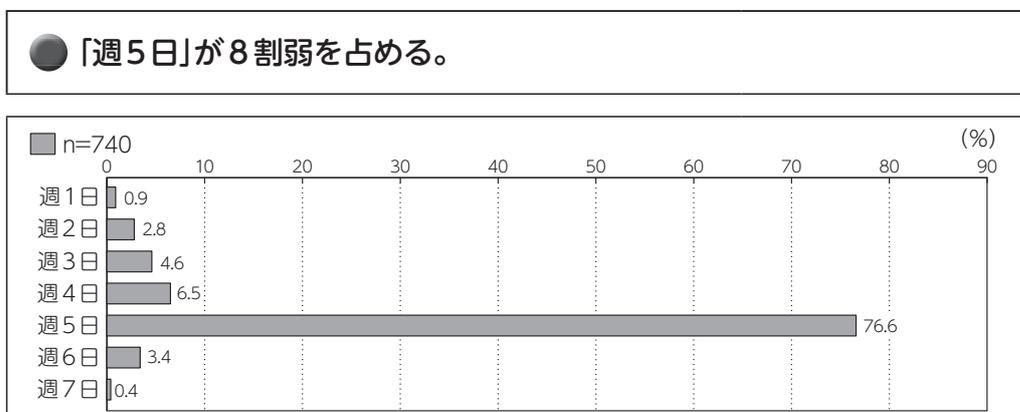
● 「以前は就労していたが現在はしていない」が3割台半ばを占め、最も多い。



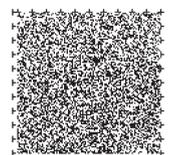
(2) 就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「3.」~「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり就労日数

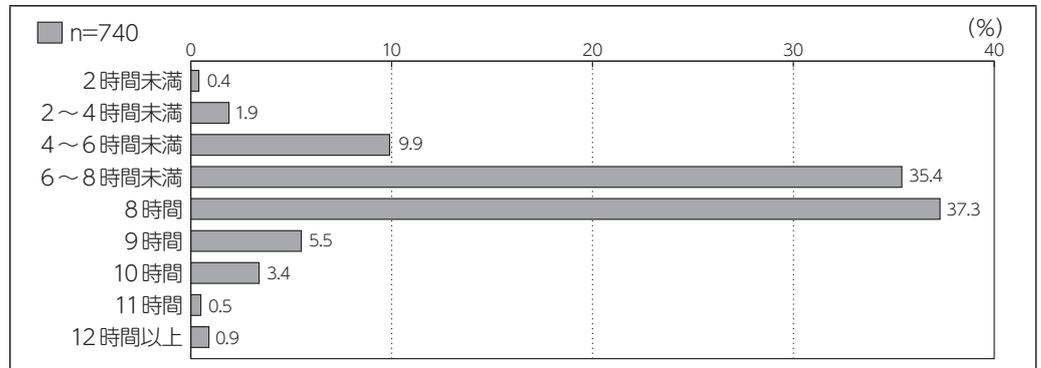


● 「週5日」が8割弱を占める。



1日当たり就労時間

● 「8時間」が4割弱、「6～8時間未満」が3割台半ばを占める。

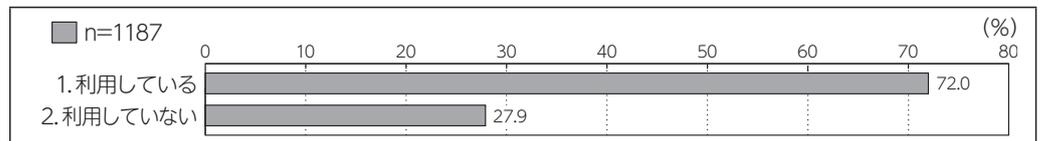


2 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

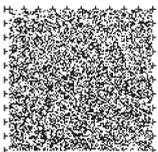
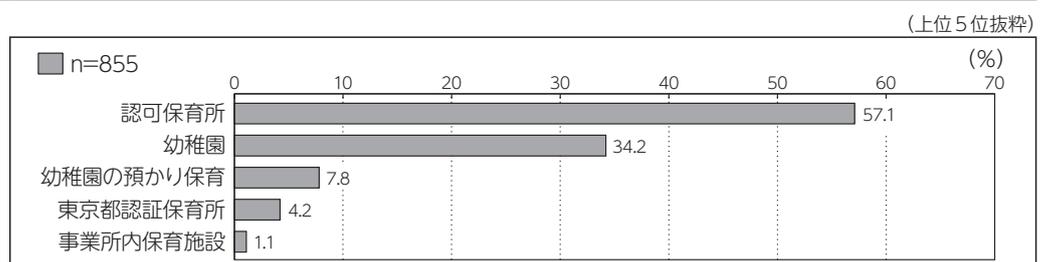
● 「利用している」が7割強を占める。



(2) 定期的にご利用している教育・保育の事業

問15-1 問15-1～問15-5は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

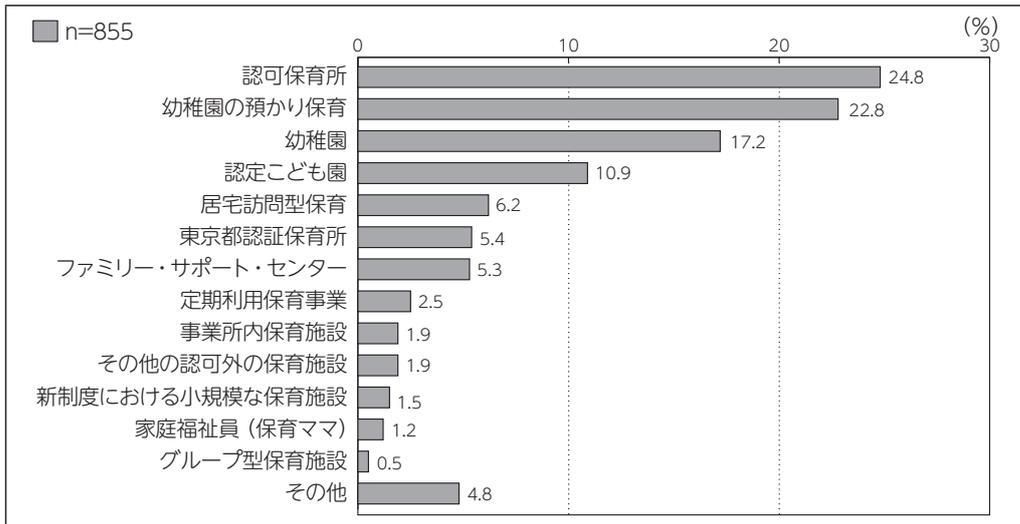
● 「認可保育所」が6割弱にのぼり、最も多い。



(3) 無償となった場合に利用変更したい事業

問15-2 教育・保育にかかる負担が無償(または上限ありの補助)となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うものはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

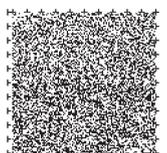
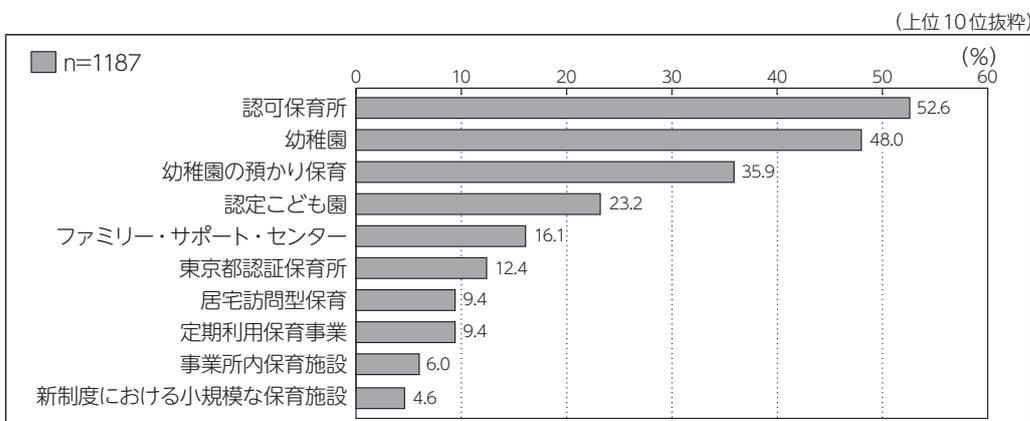
● 「認可保育所」が2割台半ばにのぼり、最も多い。



(4) 今後定期的に利用したい教育・保育事業

問16 すべての方に向かっていきます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。【複数回答】

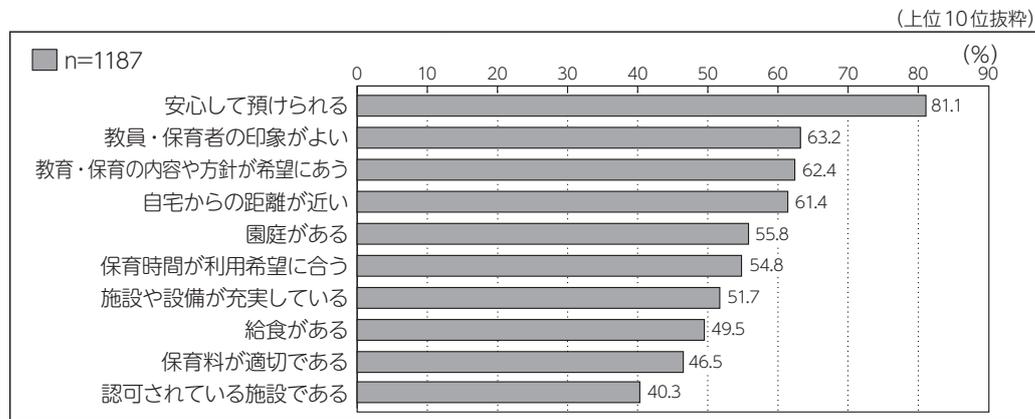
● 「認可保育所」が5割強にのぼり、最も多い。



(5) 事業を希望する上で重視する条件

問16-1 問16で選んだ事業を希望する上で重視する条件についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

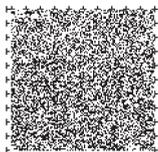
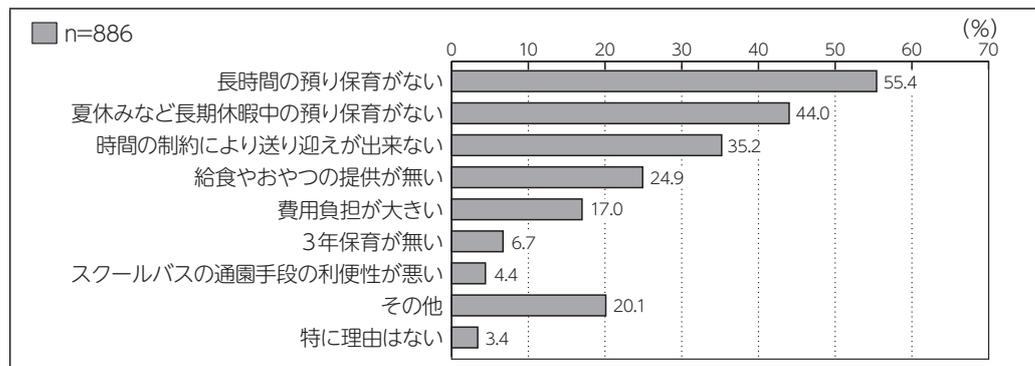
● 「安心して預けられる」が8割強にのぼり、最も多い。



(6) 幼稚園を利用していない理由

問16-2 「幼稚園」を利用されていない方にうかがいます。幼稚園を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

● 「長時間の預り保育がない」が5割台半ばにのぼり、最も多い。

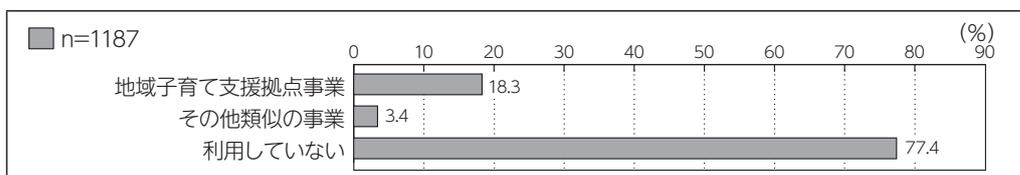


4 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 現在利用している地域子育て支援拠点事業

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育てひろば」等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。【複数回答】

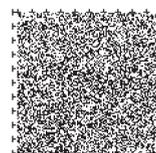
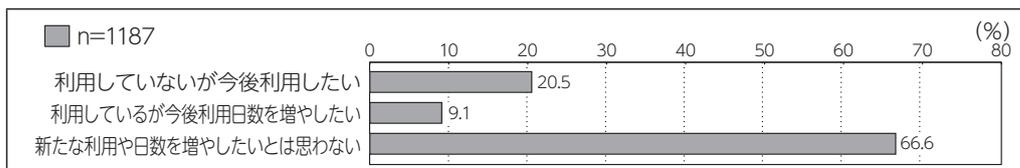
● 「利用していない」が8割弱を占める。



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

● 「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が7割弱を占める。



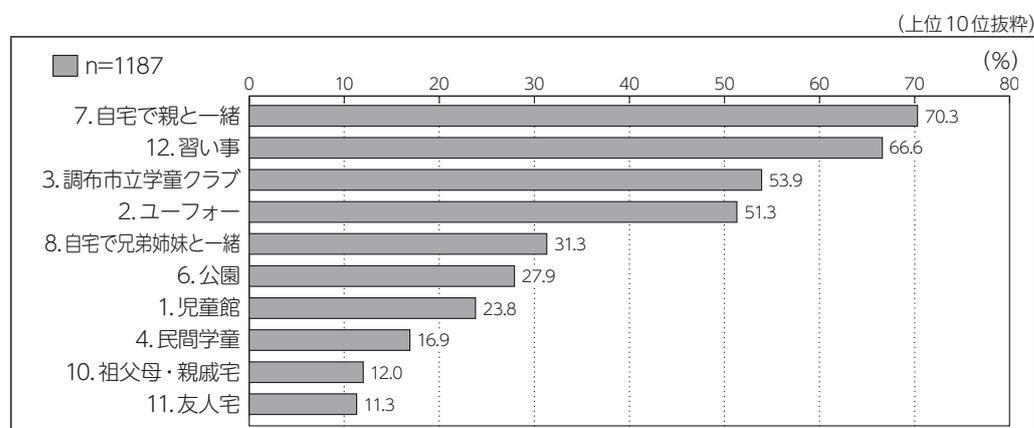
5 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後の時間を過ごさせたい場所

① 全体

問27 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1~3年生)の場合と小学校高学年(4~6年生)になった場合について、下記(1)~(3)の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。先のことになりましたが、現在お持ちの考えでお答えください。【複数回答】

● 「自宅で親と一緒に」が約7割にのぼり、最も多い。

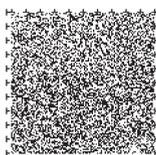
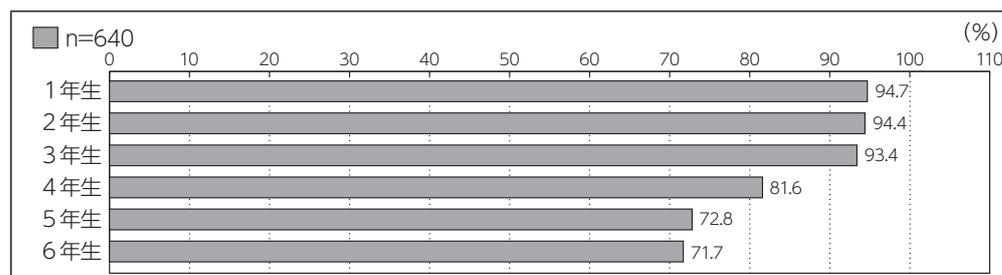


(2) 学童クラブの利用希望学年と利用希望時期

問29 問27で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。(1)何年生まで学童クラブの利用希望がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、(1)で利用希望学年に○をつけた方は、学年ごとに(2)利用希望時期について、当てはまる番号1つに○をつけてください。【複数回答】

① 利用希望学年

● 低学年の利用意向が9割を超える。



6 児童虐待について

(1) 児童虐待について知っていること

問31 児童虐待について次のことをご存知ですか。以下の(1)～(3)の各々について当てはまる番号1つに○をつけてください。

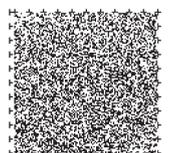
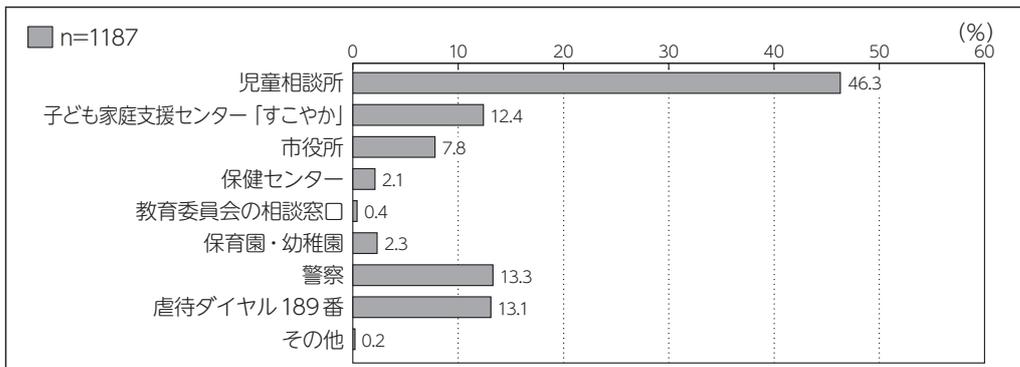
● “児童虐待防止法”の認知度は6割台半ばを占める一方、“児童虐待発見時の通報先”、“虐待に関する相談機関”の認知度は4割台半ばにとどまる。

| (%) | はい | いいえ | 無回答 | n |
|-------------|------|------|-----|------|
| 児童虐待防止法 | 64.1 | 34.0 | 1.9 | 1187 |
| 児童虐待発見時の通報先 | 44.9 | 53.4 | 1.7 | 1187 |
| 虐待に関する相談機関 | 45.2 | 53.2 | 1.5 | 1187 |

(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関

問31-1 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらでも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

● 「児童相談所」が5割弱を占め、最も多い。

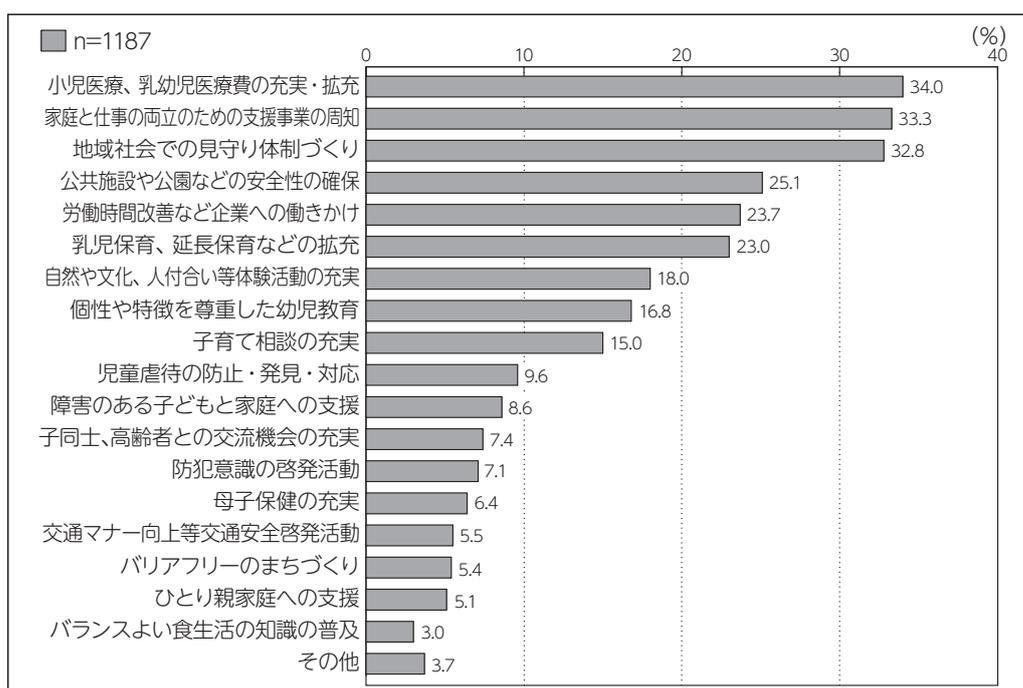


7 子育て環境や支援について

(1) 行政や関係機関の取組として必要だと思うこと

問33 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思われること、重要と思われることは何だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。
【複数回答】

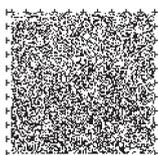
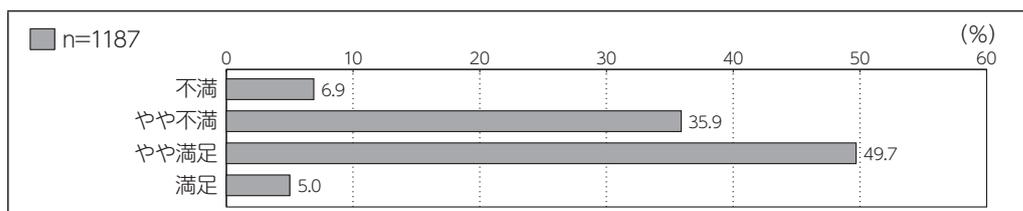
● 「小児医療、乳幼児医療費の充実・拡充」が3割台半ばにのぼり、最も多い。



(2) 市における子育て環境や支援への満足度

問34 調布市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

● 満足・やや満足が5割台半ば、一方、不満・やや不満が4割強を占める。





Ⅲ 就学児童

1 子どもの保護者の就労状況

(1) 就労状況

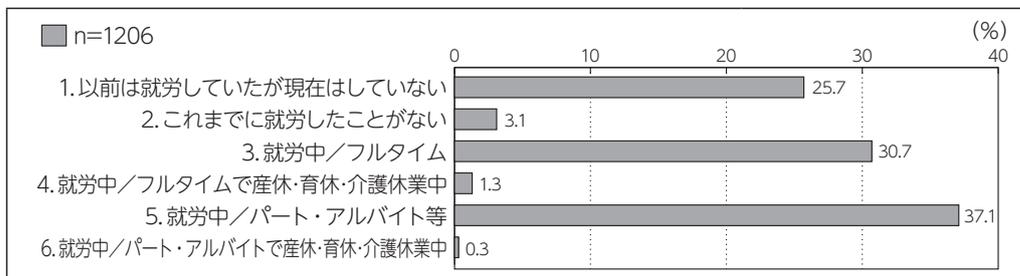
① 母親

(1) 就労状況

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、農業、家族従事者含む)をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親の就労状況

● 「就労中／パート・アルバイト等」が4割強を占め、最も多い。

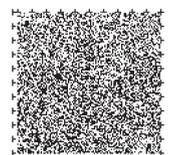


(2) 就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

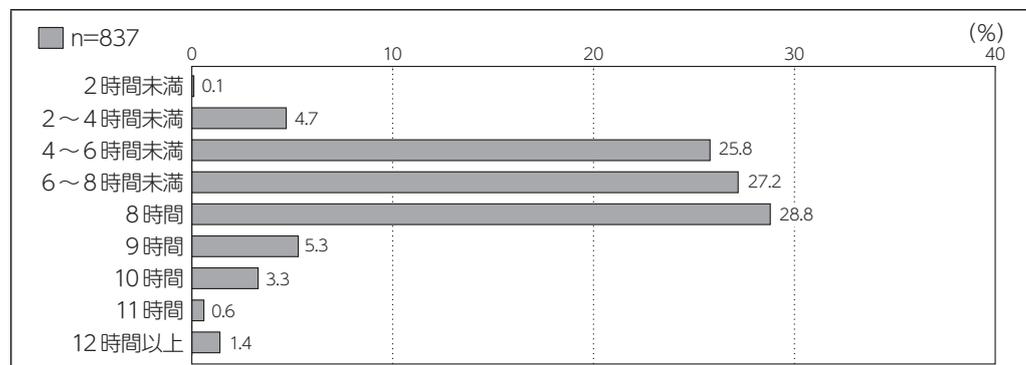
1週当たり就労日数

● 「週5日」が5割強を占める。



1日当たり就労時間

● 「8時間」が3割弱を占め、最も多い。



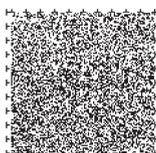
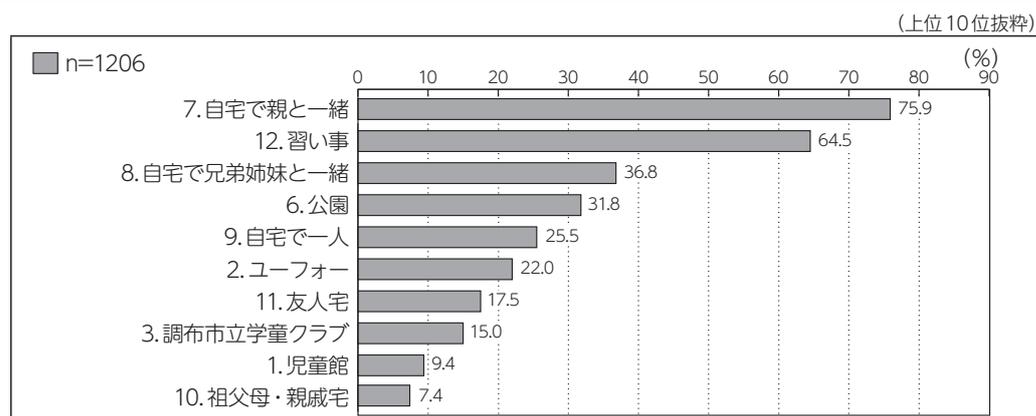
3 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごしている場所

① 全体

問20 現状を伺います。宛名のお子さんについて、現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。下記(1)～(3)の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。【複数回答】

● 「自宅で親と一緒に」が7割台半ばにのぼり、最も多い。

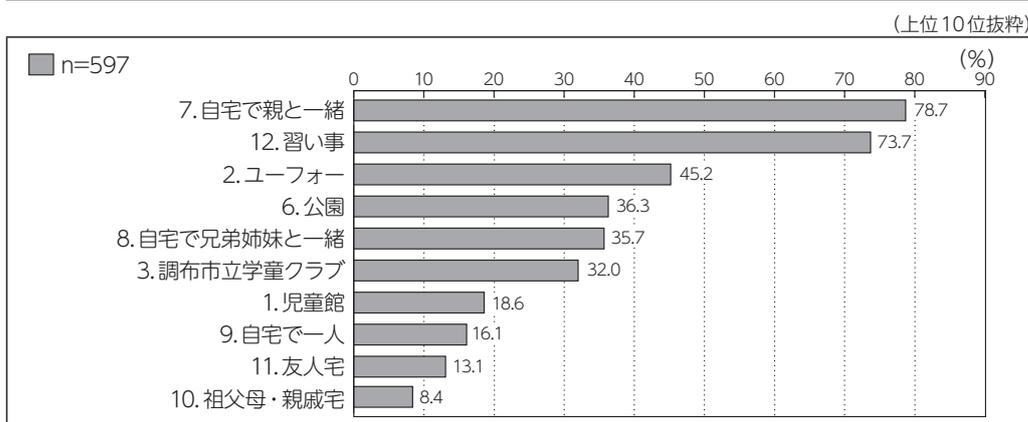


(2) 放課後に過ごさせたい場所(低学年)

① 全体

問21 宛名のお子さんが小学校1年生～3年生の方にうかがいます。放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1～3年生)の場合と小学校高学年(4～6年生)になった場合について、下記(1)～(3)の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。高学年については、先のことになりますが、現在お持ちの考えでお答えください。【複数回答】

● 「自宅で親と一緒に」が8割弱にのぼり、最も多い。

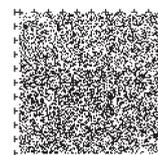
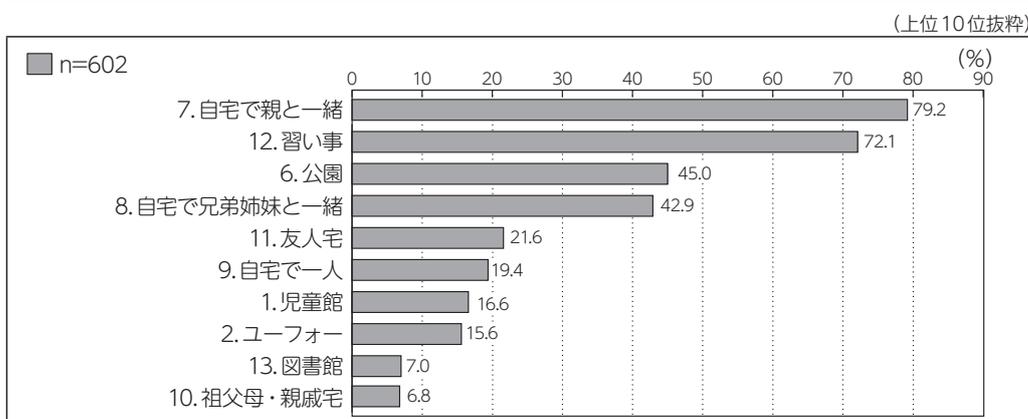


(3) 放課後に過ごさせたい場所(高学年)

① 全体

問22 宛名のお子さんが小学校4年生～6年生の方に伺います。小学校高学年(4～6年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。下記(1)～(3)の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。【複数回答】

● 「自宅で親と一緒に」が約8割にのぼり、最も多い。



(4) ユーフォアの登録・利用状況

すべての方にうかがいます。※以下の設問は、お子さんと話し合いながら回答してください。
 問26 現在、宛名のお子さんはユーフォアに登録し、利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

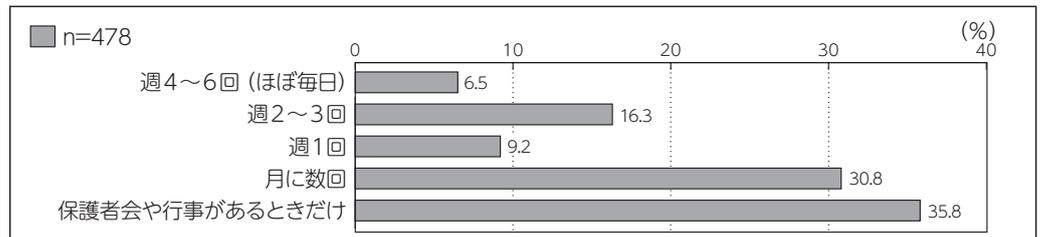
● 「登録し利用している」が約4割を占め、最も多い。



(5) ユーフォアの利用頻度

問26-1 問26で「1. 登録し、利用している」に○をした方にうかがいます。ユーフォアに週何回ぐらい行きますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

● 「保護者会や行事があるときだけ」が3割台半ばを占め、最も多い。



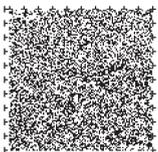
4 児童虐待について

(1) 児童虐待について知っていること

問27 児童虐待について次のことをご存知ですか。以下の(1)～(3)の各々について当てはまる番号1つに○をつけてください。

● “児童虐待防止法”の認知度は6割台半ばを占める一方、“児童虐待発見時の通報先”、“虐待に関する相談機関”の認知度は4割台にとどまる。

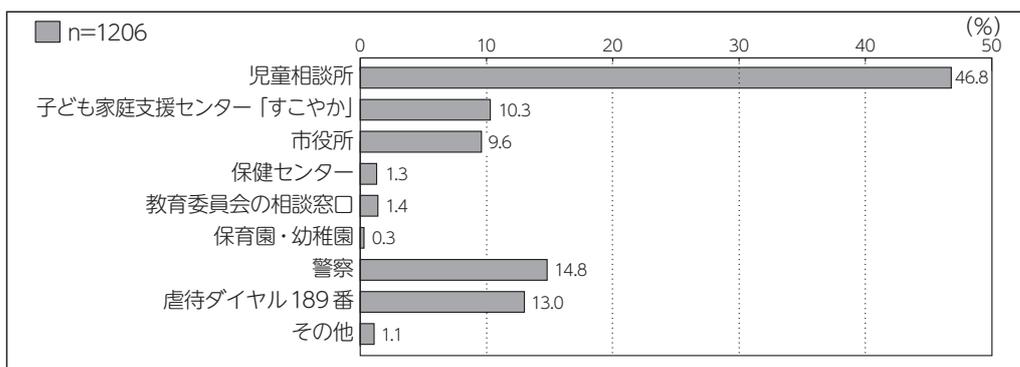
| | (%) | はい | いいえ | 無回答 | n |
|-------------|-----|------|-----|------|------|
| 児童虐待防止法 | | 65.7 | | 33.6 | 1206 |
| 児童虐待発見時の通報先 | | 43.0 | | 56.1 | 1206 |
| 虐待に関する相談機関 | | 46.6 | | 52.6 | 1206 |



(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関

問27-1 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらでも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

● 「児童相談所」が5割強を占め、最も多い。

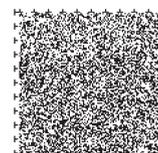
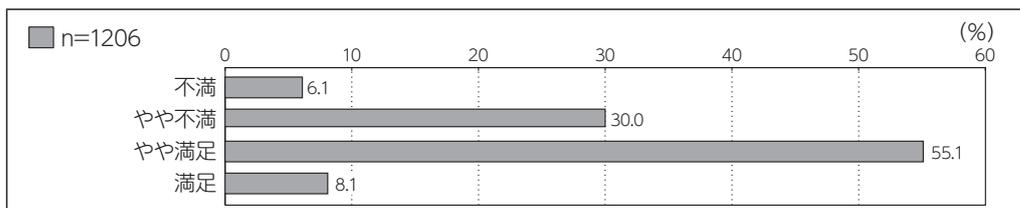


5 子育て環境や支援について

(1) 市における子育て環境や支援への満足度

問30 調布市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

● 満足・やや満足が6割強、一方、不満・やや不満が4割弱を占める。

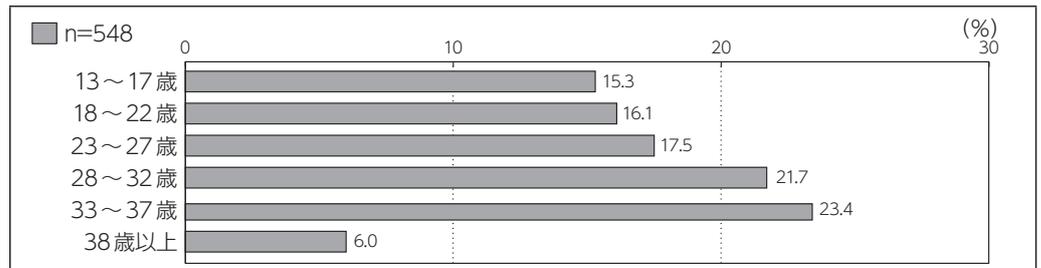


IV 子ども・若者意識調査

1 回答者の属性

(1) 年齢

● 「33歳～37歳」が2割強を占め、最も多い。



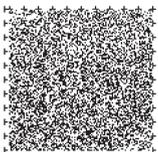
2 これまでの経験や日常生活の状況等

(1) 学校で経験したこと

問11 あなたは、小学校や中学校の頃(現在中学生の方はこれまでの経験)に、学校で①から⑨のようなことを経験したことがありますか。(それぞれ当てはまる番号に○)

● 「1.はい」の率が高い項目は、「友人とよく話した」、「親友がいた」。

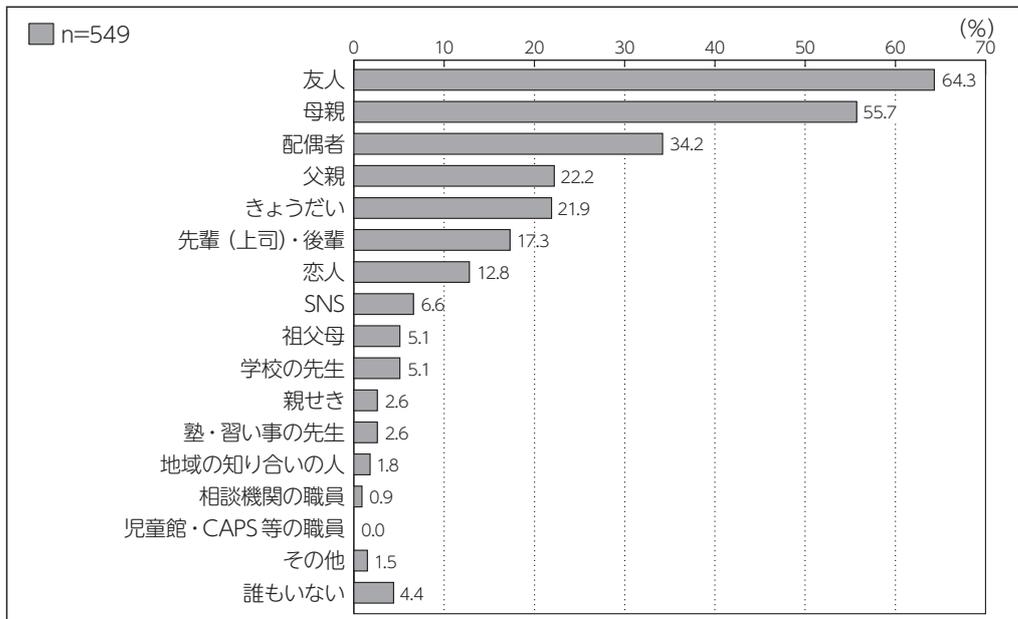
| 項目 | 割合 (%) | | n |
|-------------------------|--------|------|-----|
| | はい | いいえ | |
| ①友人とよく話した | 95.8 | 4.2 | 551 |
| ②親友がいた | 86.5 | 13.5 | 550 |
| ③友人というより一人で遊んでいる方が楽しかった | 22.0 | 78.0 | 549 |
| ④友人との関係がうまくいかなかった | 26.6 | 73.4 | 549 |
| ⑤先輩・後輩との関係がうまくいかなかった | 15.1 | 84.9 | 548 |
| ⑥学校の先生との関係がうまくいかなかった | 16.1 | 83.9 | 548 |
| ⑦悩みや困りごとをひとりで抱えていた | 30.7 | 69.3 | 548 |
| ⑧我慢をすることが多かった | 44.8 | 55.2 | 549 |
| ⑨学校の勉強についていけなかった | 18.0 | 82.0 | 549 |



(2) 気軽に相談できる人

問19 あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる人がいますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

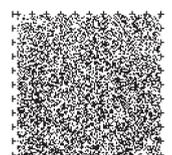
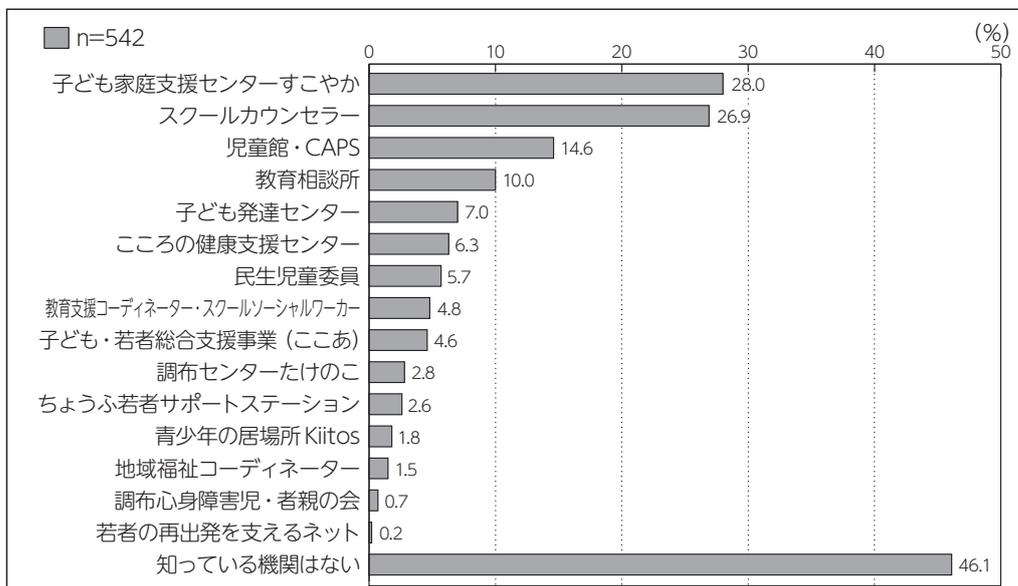
● 「友人」が6割台半ばにのぼり、最も多い。



(3) 悩みごとの相談先として認知している機関

問20 あなたは、悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる、次の機関等を知っていますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

● 具体的には、「子ども家庭支援センターすこやか」が3割弱にのぼり、最も多い。



(4)自分自身にどれくらいあてはまるか

問21 次のことは、あなた自身にどれくらい当てはまりますか。(それぞれ1つに○)

● 「1.はい」と「2.どちらかといえばはい」をあわせた“あてはまる”の率が高いのは、「朝決まった時間に起きられる」、「自分の今の状態について考えることがよくある」、「メディアの政治や経済・社会報道によく目を通す」。

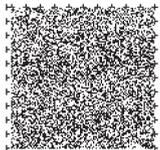
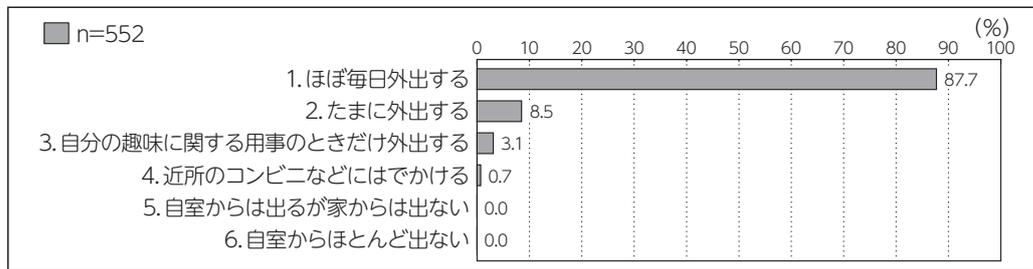
| (%) | はい | どちらかといえ ばはい | どちらかといえ ばいいえ | いいえ | n |
|----------------------------|------|----------------|-----------------|------|-----|
| 身の回りのことは家族にしてもらっている | 20.2 | 27.0 | 14.2 | 38.6 | 549 |
| 食事や掃除は家族まかせである | 22.6 | 23.1 | 12.6 | 41.7 | 549 |
| 朝決まった時間に起きられる | 48.4 | | 33.3 | 12.9 | 550 |
| 深夜まで起きてることが多い | 28.2 | 28.1 | 22.6 | 21.1 | 549 |
| 昼夜逆転の生活をしている | 5.5 | 13.3 | | 78.0 | 549 |
| パソコンやスマートフォン等がないと一時も落ち着かない | 9.1 | 29.7 | 32.1 | 29.1 | 549 |
| メディアの政治や経済・社会報道によく目を通す | 22.4 | | 44.6 | 22.6 | 549 |
| 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある | 16.9 | 31.1 | 33.2 | 18.8 | 549 |
| 誰とも口をきかずに過ごす日が多い | 1.1 | 19.6 | | 74.4 | 550 |
| 自分の今の状態について考えることがよくある | 33.6 | 37.1 | 17.6 | 11.6 | 550 |

3 外出の状況について

(1)ふだんの外出状況

問26 ふだんの外出状況であてはまるものはどれですか。(1つに○)

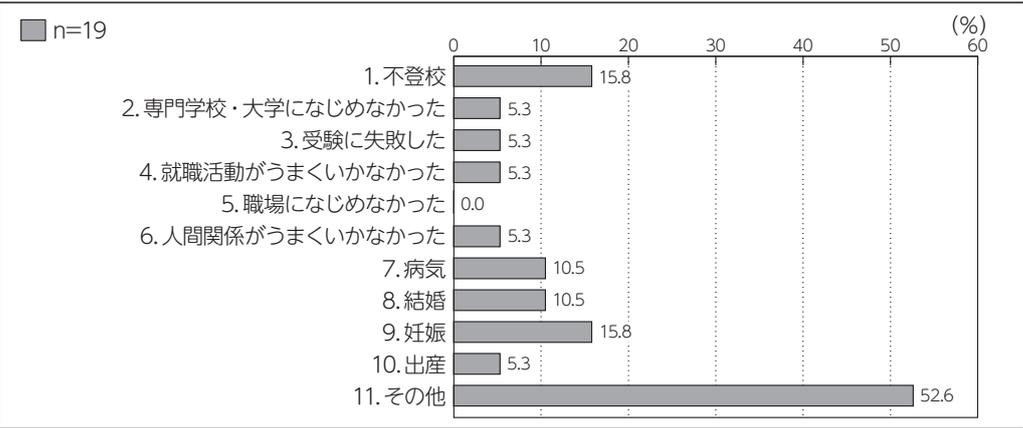
● 「ほぼ毎日外出する」が9割弱を占める。



(2)ほとんど家にいる状態になったきっかけ

問26-2 問26で「3.」～「6.」に○をつけた方にうかがいます。
 現在の状態になったきっかけは何ですか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】
 なお、「1. 不登校」「3. 受験に失敗した」「6. 人間関係がうまくいかなかった」
 のいずれかを選択した方は、さらに付問にお答えください。

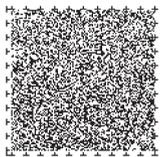
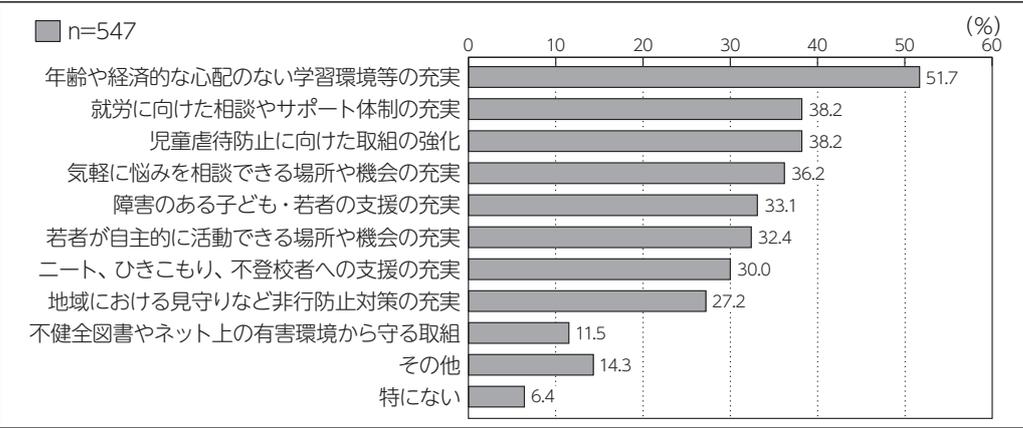
● 具体的には、「不登校」・「妊娠」が1割台半ばにのぼり、最も多い。



(3)市が特に取り組むべきこと

問27 子ども・若者が希望をもてる調布市となるために、調布市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

● 「年齢や経済的な心配のない学習環境等の充実」が5割強にのぼる。

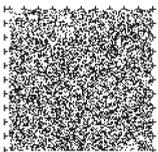


登録番号
(刊行物番号)

2018 - 273

調布市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書 概要版

発行日 平成 31 年 3 月
発行 調布市
(担当) 子ども生活部子ども政策課
〒 182-8511 調布市小島町 2-35-1
Tel 042-481-7757
編集 株式会社ぎょうせい



リサイクル適性[®](A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。